

平成 29 年度 経営発達支援計画

経済動向調査レポート

【概要版】

平成 29 年 6 月～平成 29 年 8 月

---

# I. 現在の景気動向についての傾向

## <総括>

- ・全国的な小規模企業における景気動向は緩やかな回復の傾向が継続。
- ・新潟県内において、景気の改善傾向が見られ、7月を前年同月比で見ると全項目の改善傾向を示す。
- ・新発田市および紫雲寺地域の人口数は平成29年5月から8月にかけて継続した減少傾向にある。

## 1. 全国的な経済動向について

### ■小規模企業の景気動向（平成29年6月～7月）

#### 「6月、7月では景気動向に緩やかな回復、来期もプラス幅を拡大する見通し」

産業全体における平成29年度6月～7月の景気動向としては、緩やかな回復が続き上昇は4期連続です。来期も上昇が続き、プラス幅を拡大する見通しです。項目別として項目別では、「売上額DI」が小幅改善、「採算DI」「資金繰りDI」はわずかな改善に留まった。業種別における「売上額」では、建設業、小売業、サービス業においては緩やかに改善したが、製造業は僅かな悪化となり、業種間での差が見受けられた。

#### 小規模企業における景気動向全国 単位ポイントDI値\*

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲13.5	▲10.0	3.5	▲4.9	▲6.1	▲1.2	▲7.4	▲1.0	6.4
採算	▲14.4	▲14.1	0.3	▲10.3	▲11.9	▲1.6	▲13.8	▲13.0	0.8
資金繰り	▲11.6	▲11.1	0.5	▲8.1	▲9.9	▲1.8	▲12.3	▲10.9	1.4
業況	▲15.6	▲14.3	1.3	▲7.7	▲11.1	▲3.4	▲11.6	▲10.5	1.1

業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲24.5	▲20.0	4.5	▲17.2	▲12.7	4.5
採算	▲20.8	▲21.6	▲0.8	▲12.8	▲9.8	3.0
資金繰り	▲15.4	▲15.9	▲0.5	▲10.6	▲8.0	2.6
業況	▲25.1	▲21.0	4.1	▲17.9	▲14.6	3.3

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

(参照元：全国商工会連合会小規模企業景気動向調査)

\*DI 値…Diffusion Index の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値のこと。企業の景況感を示す業況判断指数として用いられ、プラスに転じるほど「景況感が良い」と捉えることができる。

## 2. 新潟県内の経済動向について

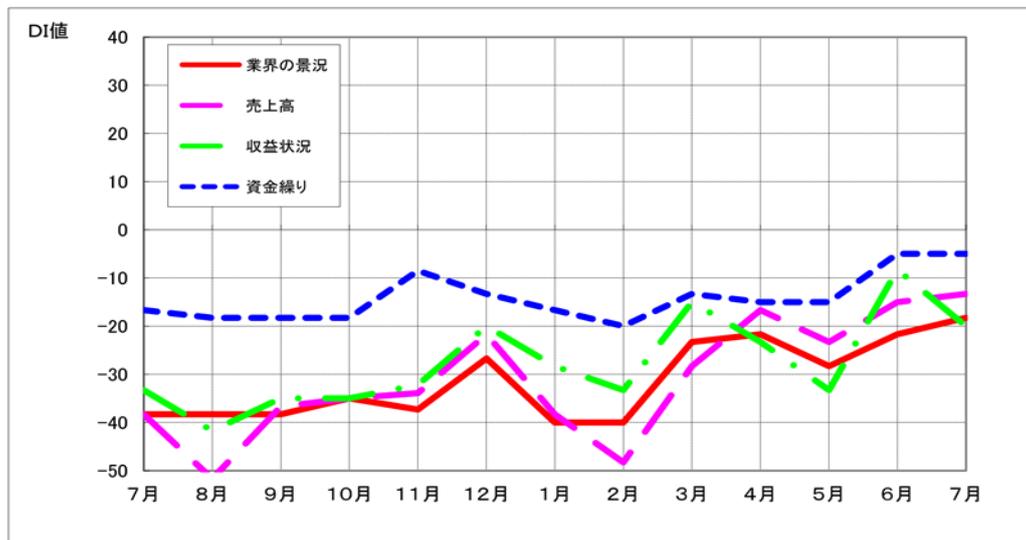
### ■新潟県内企業における景況感（平成 28 年 7 月～平成 29 年 7 月）

#### 「前年同月比でみると全項目の改善傾向を示す」

新潟県内企業における景況感として、「業界の景況」DI 値は 20 ポイント、「売上高」DI 値は 25 ポイント「収益状況」DI 値は 13.3 ポイント、「資金繰り」DI 値は 11.7 ポイント改善。前年同月比でみると全項目改善した。

「業界の景況」、「売上高」は改善傾向に見られるが、全体的に実績の減少・低調との報告が見られ、引き続き今後の推移に注視する必要がある。

新潟県内企業における景気動向全国 単位ポイント DI 値\*



	H28					H29							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-38.3	-38.3	-38.3	-35.0	-37.3	-26.7	-40.0	-40.0	-23.3	-21.7	-28.3	-21.7	-18.3
売上高	-38.3	-51.7	-36.7	-35.0	-33.9	-21.7	-38.3	-48.3	-28.3	-16.7	-23.3	-15.0	-13.3
収益状況	-33.3	-41.7	-35.0	-35.0	-32.2	-20.0	-28.3	-33.3	-15.0	-23.3	-33.3	-8.3	-20.0
資金繰り	-16.7	-18.3	-18.3	-18.3	-8.5	-13.3	-16.7	-20.0	-13.3	-15.0	-15.0	-5.0	-5.0

参照元：月次景況調査報告 新潟県中小企業団体中央会（2017 年 7 月）

### 3. 新発田市の経済環境について

<新発田市人口推移（平成29年5月、6月、7月、8月）>

	世帯数	男	女	うち、 日本人住民	うち、 外国人住民	人口数合計	増減数
平成29年5月	36,272	48,061	51,161	98,683	539	99,222	—
平成29年6月	36,278	48,041	51,119	98,625	535	99,160	▲62
平成29年7月	36,304	48,044	51,118	98,619	543	99,162	2
平成29年8月	36,310	48,004	51,071	98,534	541	99,075	▲87

(参照元：新発田市)

<紫雲寺地区人口推移（平成29年5月末、6月末、7月末、8月末）>

紫雲寺地区合計			
世帯数	基準	数	増減
	平成29年5月末		2,226
平成29年6月末		2,227	+1
平成29年7月末		2,228	+1
平成29年8月末		2,227	▲1
人口合計	基準	数	増減
	平成29年5月末	7,246	—
平成29年6月末	7,233	▲13	
平成29年7月末	7,234	▲1	
平成29年8月末	7,216	▲18	

(参照元：新発田市)

新発田市において、世帯数は増加傾向にあるものの、人口減少が続いている。平成29年8月末現在の新発田市人口は、99,075人であり、平成29年5月から人口減少の傾向にある。7月における人口増加は、外国人住民の増加によるものである。

紫雲寺地区の人口推移としては、平成29年5月から8月において世帯数は横ばい傾向。また、同期間における人口においては減少の傾向にあり、継続的な減少推移となっている。

## 4. 新発田市における企業の景況感

＜新発田市の企業における業種別景気動向 単位：ポイント（DI 値\*）＞

景況調査

平成29年1月～3月期

新発田商工会議所

来期の見通し(H29年4月～6月)

製造業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	25.00%	不変	37.50%	減少	37.50%	増加	12.50%	不変	37.5%	減少	50.00%	増加	50.00%	不変	37.50%	減少	12.50%
資金繰り	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	100.0%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	87.50%	悪化	12.50%
採算(経常利益)	好転	12.50%	不変	50.00%	悪化	37.50%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	12.50%	不変	75.00%	悪化	12.50%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	87.50%	減少	12.50%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	25.00%	不変	82.50%	減少	12.50%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	87.50%	悪化	12.50%	好転	0.00%	不変	87.5%	悪化	12.50%	好転	12.50%	不変	87.50%	悪化	0.00%

※前年同期比で採算・業況で悪化割合が減っている。来期見通しは売上で増加と見る企業が増え、明るい兆しが見られるものの、採算・業況の改善には至っていない。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②製品(加工)単価の低下・上昇懸

来期の見通し(H29年4月～6月)

建設業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
完成工事高	増加	28.57%	不変	28.57%	減少	42.86%	増加	28.57%	不変	28.6%	減少	42.86%	増加	28.57%	不変	42.86%	減少	28.57%
資金繰り	好転	28.57%	不変	57.14%	悪化	14.29%	好転	14.29%	不変	71.4%	悪化	14.29%	好転	0.00%	不変	85.71%	悪化	14.29%
採算(経常利益)	好転	28.57%	不変	42.86%	悪化	28.57%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	14.29%	不変	71.43%	悪化	14.29%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	85.71%	減少	14.29%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	85.71%	減少	14.29%
業況(自社)	好転	28.57%	不変	42.86%	悪化	28.57%	好転	14.29%	不変	71.4%	悪化	14.29%	好転	14.29%	不変	71.43%	悪化	14.29%

※前年同期比で完成工事高、採算で減少・悪化の割合が増えている。来期見通しは不変割合が高く、採算・業況は堅調に推移している。

今期直面している経営上の課題→①民間需要の停滞 ②官公需要の停滞、大企業の進出による競争の激化

来期の見通し(H29年4月～6月)

卸売業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	0.00%	不変	50.00%	減少	50.00%	増加	50.00%	不変	25.0%	減少	25.00%	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%
資金繰り	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%	好転	25.00%	不変	75.0%	悪化	0.00%	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%
採算(経常利益)	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	75.0%	悪化	25.00%	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%

※前年同期比で売上減少が50%ではあるものの、各項目の減少・悪化が改善されている。来期見通しは売上・採算3・業況ともに前年比不変が100%となっている。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②メーカーの進出による競争の激化

来期の見通し(H29年4月～6月)

小売業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	20.00%	不変	26.67%	減少	53.33%	増加	20.00%	不変	46.7%	減少	33.33%	増加	13.33%	不変	46.67%	減少	40.00%
資金繰り	好転	0.00%	不変	66.67%	悪化	33.33%	好転	0.00%	不変	73.3%	悪化	26.67%	好転	0.00%	不変	73.33%	悪化	26.67%
採算(経常利益)	好転	6.67%	不変	53.33%	悪化	40.00%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	6.67%	不変	60.00%	悪化	33.33%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	86.67%	減少	13.33%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	93.33%	減少	6.67%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	60.00%	悪化	40.00%	好転	0.00%	不変	66.7%	悪化	33.33%	好転	0.00%	不変	60.00%	悪化	40.00%

※前年同期比で売上増加が20%と増えたものの各項目で悪化・減少の割合が高く、厳しい状況が続いている。来期に向けても業況は不変や悪化と見る企業が多く、全体として厳しい傾向が続いている。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化への対応

(参照元：新発田市商工会議所 中小企業景況調査)

新発田市商工会議所の中小企業景況調査によると、全業種において前年同期比で採算・業況で悪化割合が減っている。来期見通しは売上で増加と見る企業が増え、明るい兆しが見られるものの、採算・業況の改善には至っていない。

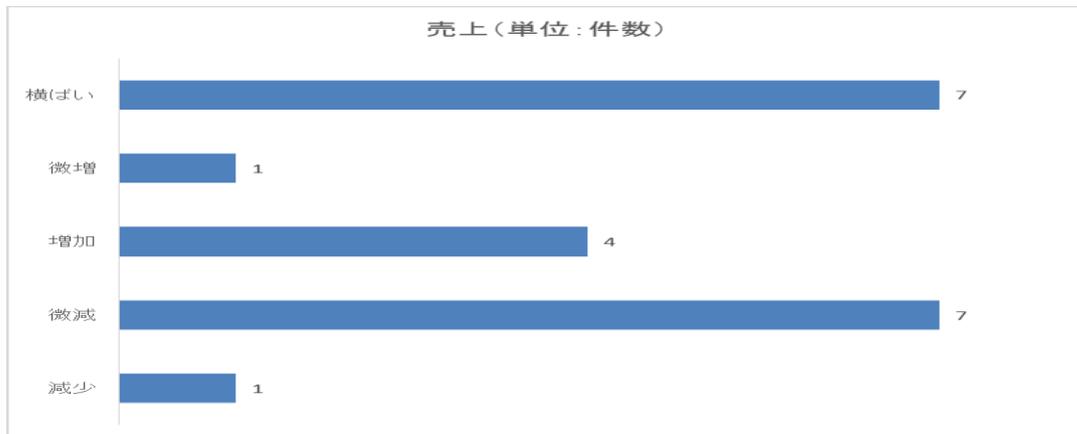
卸売業においては前年同期比で売上減少が50%ではあるものの、各項目の減少・悪化が改善されている。小売業においては、前年同期比で売上増加が20%と増えたものの各

項目で悪化・減少の割合が高く、厳しい状況が続いている。来期に向けても業況は不変や悪化と見る企業が多く、全体として厳しい傾向が続いている。サービス業においては、前年同期比で全項目の増加・好転割合が増えている半面、減少悪化割合も増えており企業間での差が出ている。来期見通しは売上減少が増えたものの資金繰り・採算・業況は不変の割合が高い。

※最新の情報に関しては、10月に開示予定（新発田商工会議所）

## Ⅱ. 紫雲寺地域の企業における景気動向について

### ■現在の景気・業況・売上の推移について

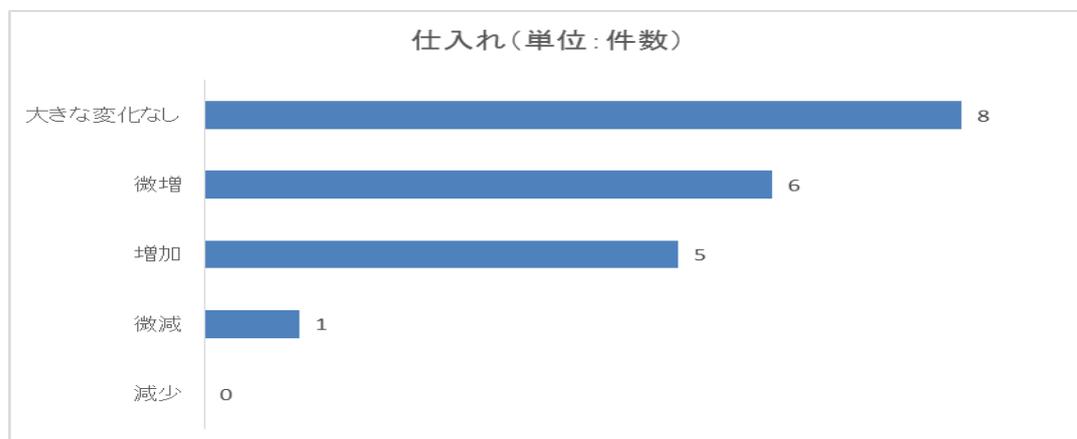


- ・ 昨年同時期と比べた売上の変化として「ほぼ横ばい」が全体の約35%
- ・ 「売上が増加している」「売上が微増している」と回答した事業者は全体の約25%。
- ・ 「売上が減少している」「売上が微減している」と回答した事業者は全体の40%

現在の景気や業況、昨年同時期と比べた売上の状況について聞いたところ、「ほぼ横ばいで推移している」と全体の約35%の事業者が回答した。

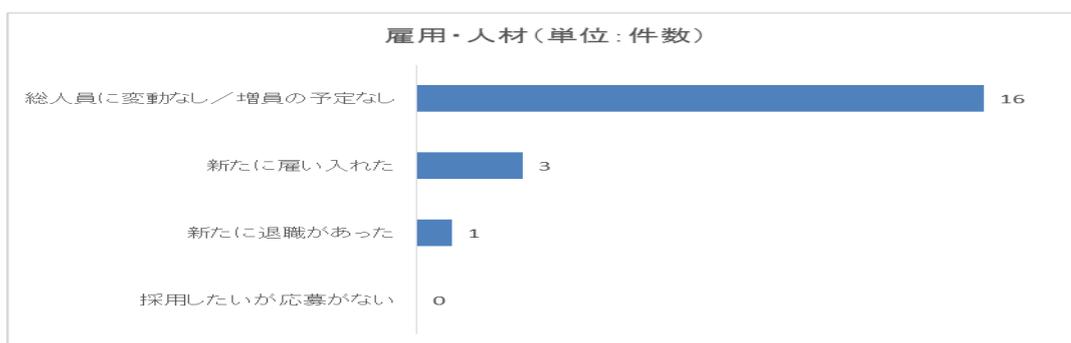
昨年同時期と比べて「売上が増加している」「売上が微増している」と回答した事業者は全体の約25%。一方で「売上が減少している」「売上が微減している」と回答した事業者は全体の40%となっている。売上高の減少要因として多く挙げられたのは、客数(取引先数)の減少によるものが多く占めている。

### ■仕入れ価格の状況について



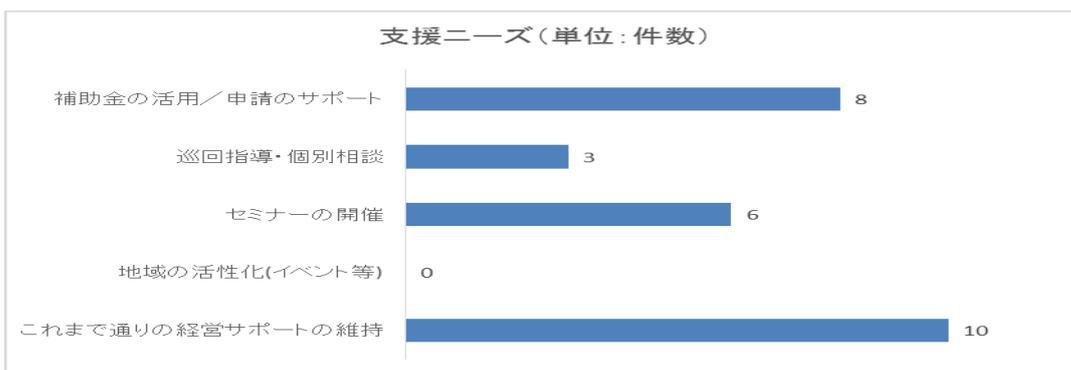
仕入れ価格や費用の状況については総じて「大きな変化がない」という回答が集まったが、「増加」、「微増」と回答した企業は、全体の55%あり、食品やタイヤといった資材が高騰したという回答が多く寄せられた。一方で、微減と回答した企業からは、原価を下げるために仕入先を選定する等、原価管理の取組みが効果につながっているとの回答も寄せられた。

### ■雇用・人材の状況について



全体の80%の事業者で「総人員に変動なし/増員の予定なし」との回答が占めた。「新たに雇い入れた」という企業は15%を占め、パート社員の登用や、今後の展開に向けた人材の採用等が挙げられた。一方で先を見据えた中、人材確保に課題を感じた企業も見受けられた。

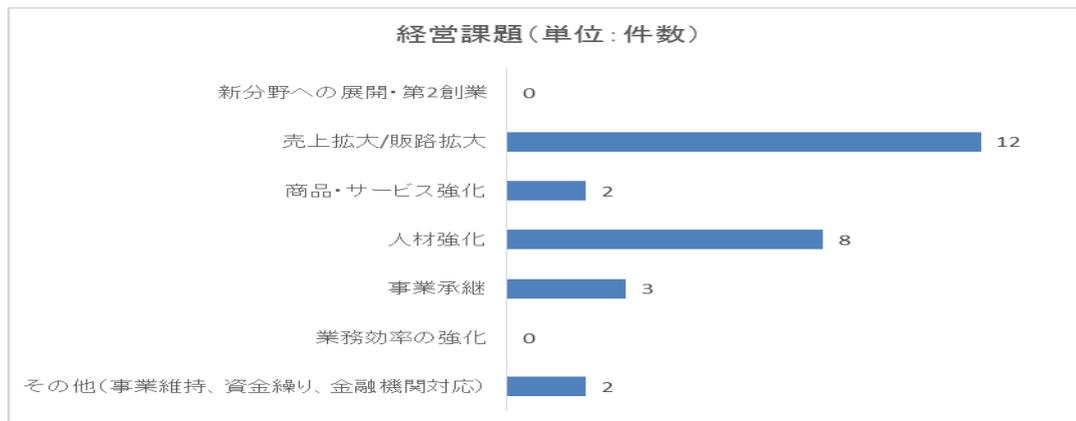
### ■支援ニーズ



商工会からの支援に関するニーズとしては、「補助金の活用/申請のサポート」という要望が全体の約30%を占める回答となっている。

また、セミナーの開催に関しては、販路拡大、Webの活用の他、事業継承、職員教育、人材育成など人材の確保や育成に対するサポートを求めている回答が寄せられた。

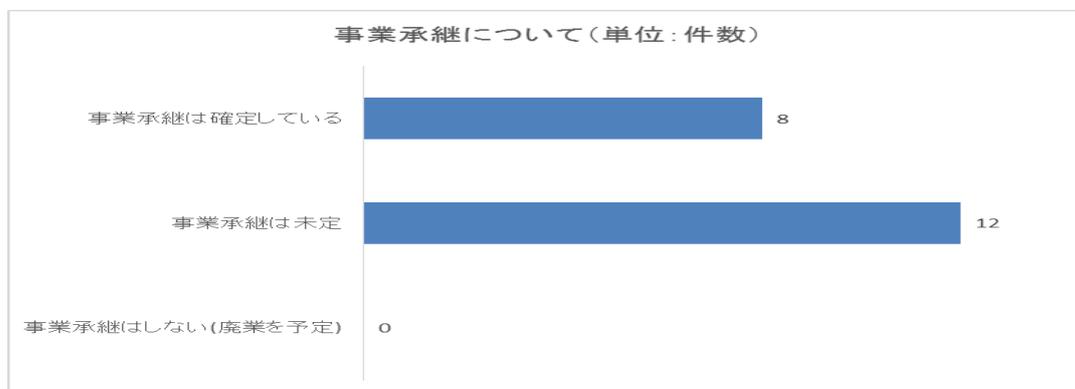
■現在の経営課題について(複数回答あり)



回答全体の約44%において、「売上拡大/販売経路拡大に向けた経営課題」を抱えており、施策として、ネット販売や新たな地域での販売を検討している回答が寄せられた。また、学生や地域とのコラボレーションによる商品開発を行い、販路拡大にむけた施策を行うといった回答が寄せられた。

「人材強化の課題」として、人材の確保も去ることながら、現在の社員・スタッフを対象とした人材育成について課題としている企業も回答の約30%を占めている。

■事業承継について



事業承継に向けたヒアリングを行った中、既に事業承継を行った、または後継者が確定している企業は約40%を占める結果となり、前回の調査より10%増加した。

後継者未定の要因としては、候補者はいるものの資金繰りの不安や、景況の先行きの不安が候補者に事業承継を懸念される要因となっている。

前回の調査より増加した先は、親族の承継やネクストオーナー確定に伴い承継者は確定しているとの回答が寄せられた。

以上